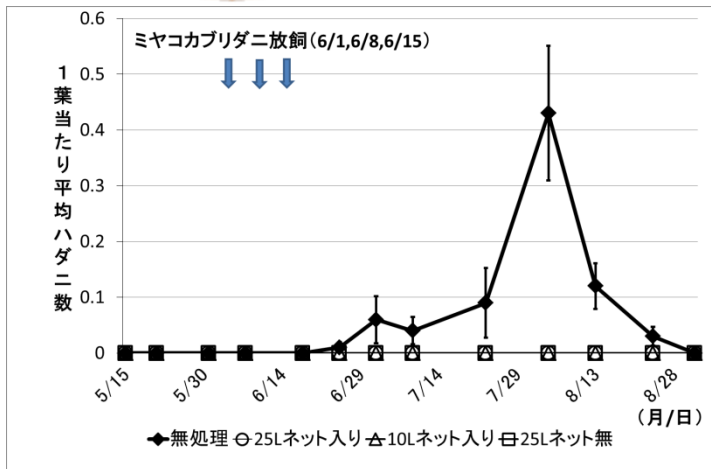
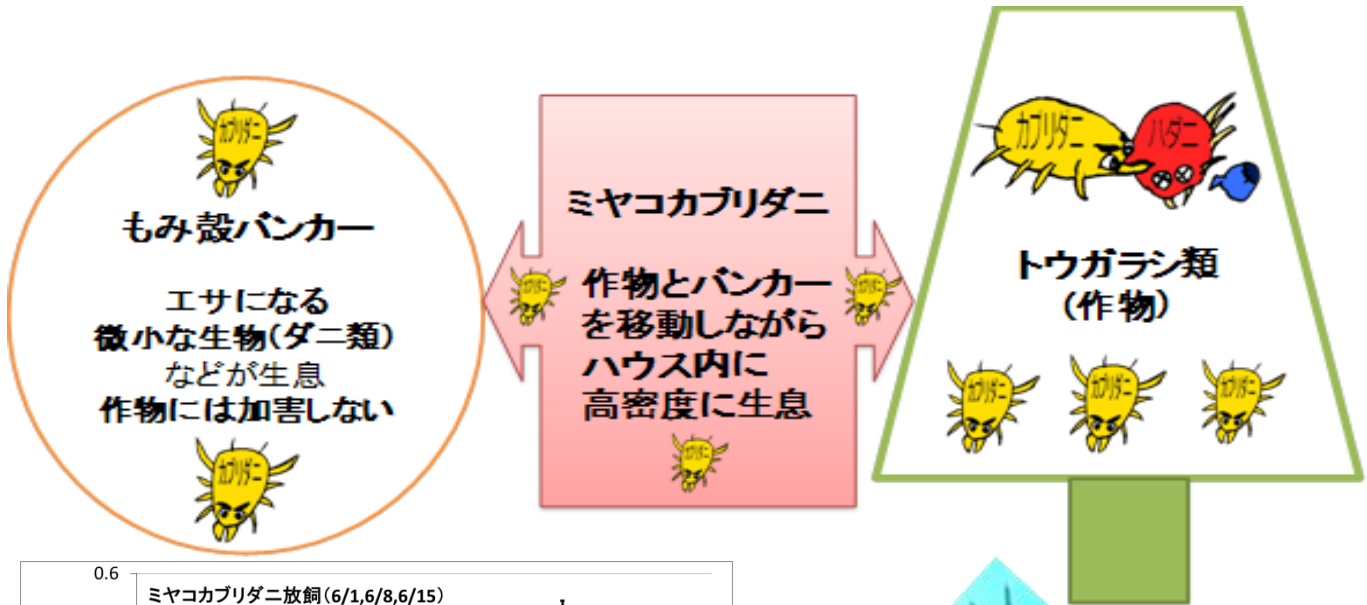


# 施設トウガラシ類におけるハダニ類防除のための捕食性天敵バンカー法の開発

(農林センター 環境部)

トウガラシ類に発生する害虫ハダニ類を安定的に天敵ミヤコカブリダニで防除するため、天敵の餌になる微小生物が生息するもみ殻バンカーを設置する技術を開発しました。



もみ殻バンカーを設置することにより天敵(ミヤコカブリダニ)の効果が高くなりハダニが抑制されました。



害虫ハダニ類を葉脈の隙間で待ち伏せする天敵ミヤコカブリダニ (成虫体長: 約0.35mm)



トウガラシの葉を加害する害虫ハダニ類 (成虫体長: 約0.5mm)

ミヤコカブリダニはハダニが発生していない時でも、もみ殻バンカー内に生息する微小生物を餌にすることで、高密度に生息することができます。

- ・ ネット袋にもみ殻を10~25L入れ、3aハウスで50袋を定植2週間後に畝上に設置し、その後1週間以降に天敵を放飼すると効果があります。
- ・ もみ殻を扱う際は、アレルギー症状を起こす可能性があるため、必要に応じて防じんマスク、防護めがね、手袋を着用するなどして、粉塵を吸ったり、もみ殻に直接触れたりしないように十分注意してください。